

準備工

内 容	留 意 事 項
・作業打ち合わせ (KY活動) ・作業内容の打ち合わせ (KY) 活動(事前調査資料参照) ・作業方法の確認 ・作業箇所、条件により人員の配置を行う ・作業人員の確認 ・作業規制の確認 ・使用機械の点検 ・保護具の点検	・ リスクアセスメントによる危険予知の実施 ・各種資格の確認・使用機械の選定 ・担当者との打ち合わせ (現地にて作業方法の確認打ち合わせ) ・天候を考慮して現場状況、天候、作業者のレベル等で職長が判断 ・責任者により作業分担を選任。資格証携帯確認 ・作業責任者は作業の進捗により人員配置を変更する ・使用機械安全器具および安全装置の点検 ・安全器具の点検 ・車両運行前点検の実施 ・保護具の損傷がないか点検を行う。(使用機械別保護具を参照)

ケーブル確認
危険物の除去

・ 現場到着後、リスクアセスメントによる現場KYの実施 ・ケーブル露出箇所の確認 ・危険物(ゴミ等)の除去	・現場到着後、現場責任者と刈り手でケーブル図面を確認しながらどこにケーブルが通っているか確認をし印付け及び作業員へ周知を行う ・年間ケーブル協議書に準じてケーブル防護を行い作業を行う(年間協議書参照) ・危険物(ゴミなど)は前もって除去する ・ゴミ等は指定された仮置き場に集積する
--	---

除草剤散布

・薬剤配合 ・散布 ・高所作業車を使用した除草剤散布	・SDS(安全データシート)の確認および携帯 ・上下作業の禁止 ・作業前にハチの巣および周囲の確認を行う。 ・避難場所の確認 ・作業計画書の配合・使用数量を参照 ・消毒に毒性があるので皮膚につかないように気をつける ・通行車両に飛散しないように風向きを考慮して作業をおこなう ・風を考慮して自分や近くの人にかからないように気をつけて作業する ・バケットへは2名乗車で作業を行う(40m高所作業車はオベ含み3名乗車) ・高所作業車での作業は風速10m以上で作業中止とする(風速計を所持する) ・旋回範囲への立ち入り禁止処置の実施 ・旋回する際「構造物・標識に注意」し損傷注意ならびに規制外へはみ出し注意(状況により監視員を配置する) ・遮音壁越しで確認できない場合はトランシーバー・合図などで作業員と連携を取り作業を行う ・アウトリガーの確実な使用 ・移動時はブームおよびアウトリガーを格納してから行うこと ・河川への流出には注意すること ・作成した薬剤はその日に使い切る ・散布の目的と散布対象をよく理解して作業する事 ・風向に注意しブロー作業 ・木くずなどが排水溝などに詰まりが発生しないように注意する。
----------------------------------	--

作業終了と後片付け

・掃き掃除 ・終礼の実施	・切りくず・道具等の放置確認 ・リスクアセスメントによる危険予知訓練により実施 ・使用機械の清掃、調整の実施
-----------------	--

注意事項

・SDSの携帯
・除草剤散布時は風向きに注意して、状況によっては中止も検討する
・手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
・1人作業の禁止
・有資格者により作業を行う。(資格証を所持する)
・合図の確認

安全器具・保護具確認
ヘルメット・安全チョッキ
殺虫剤・ポイズンリムバー・熱中症グッズ・涼しん帽
使用機械別使用保護具を参照
【ケーブル事故防止対策】コンパネ・シュート
「蜂抗体検査レベル3以上」の方:エビペン

使用機械
動噴(一式)